

自己実現への道

第94回 ー 第7章 「自分の運命を好転させる心の持ち方」(その1)

★ 悩みや心配事は分散して解決できる

信念の道を歩み、どんな場合でも積極明朗に生きるように心がけている人でも、病気や人との別れやその他、ネガティブになってしまう現実に見舞われるものである。

人はこのような人生の生々しい現実から逃れることはできない。だがしかし、適切に対処することは可能である。

人生の現実に対して、人は毅然と対処しなければならない。さもないと現実に関心を乱され、思い煩いに痛めつけられて、ダメな人間になり果ててしまう。

では、どうすれば様々な心配事を解決してゆくことができるのだろうか？

多様な心配事には、一度にまとめて対面しないように配慮するのが賢明である。多くのことを一度に処理をすることはできない。心配事は一度にひとつずつだけ対応できるようにするのが賢明な生き方である。今日は緊急のことだけを処理することにして、明日に回してよいものは明日に持ち越すことにするのだ。ひとつずつ解決することでかなり多くのものが自然に消え去ってゆく。

思い煩わないことが賢明なのである。ひとつずつ坦々と片づけてゆくことである。

すなわち、片づけることに専念し、悩まないことが重要なのだ。

★ 運命を切り開くコツ

いろいろあったとしても、昔の辛かった時に比べれば、今はずっと恵まれているのではないか？ そう思えば、確かにそうだ。今の自分はいかに恵まれていることか・・・そう、笑顔になろう。

自分の態度を変えることによって、自分の在り方を変えることができるのである。

人生は、選択の仕方によっても変わる。選択を迫られたとき、積極的に活動的な方向を選ぼう。そうすれば、行く手に必ず明るい未来が待っている。笑顔が笑顔を呼び集めるのだ。笑顔結集！

不平を言ったり、心配ばかりしては、運命は開けてこない。自分は運が悪いと言ったとしても、この地球上であなたより恵まれない人は大勢いるのだ。その人たちと比べればあなたはずっと幸せではないか？

不平ではなく、自分の恵まれている点に感謝するのが、運命を切り開き、運勢をよくするコツのひとつである。

〈MIKO〉

☞ 参考文献：Tough Minded Faith For Tender Hearted People by Robert H Schuller より